

**File 3 - 3: 木の実・草の実の結実にいたる過程を学ぶ、体験するプログラム >>>> 草花を観察してみよう**  
(ねらい) 観察を通して、季節の変化と植物の繁殖について考えることができるようになる。

国立赤城青少年交流の家「施設周辺の野外」 (所要時間 1時間30分)



ルーペで、様々な植物の特徴を観察する。  
【観察】アメリカセンダングサ、チヂミザサ、ミズヒキ  
オオバコなどの、ひつつきむし。  
【講話】匂いの嗅ぎ方、植物の効用、名前の由来、  
植物の歴史など。  
・種の散布の様子(種の保存の方法)について知る。



温暖化の影響で北上している実態を体験する。  
【観察】ツマグロヒョウモン  
【講話】花に止まる様子を観察させ、前足の使い方(味を見る  
ために使用)を解説する。分布区域や夏季・冬季の移動につい  
ての話をする。  
・気候・天候と生き物の活動との関係について知る。



花の仕組み、アザミとハナバチの関係を実際に触れて考える。  
【講話】花粉を無駄にしない自然の戦略の説明  
アザミは、ハナバチぐらいの昆虫が蜜を吸いに来て花上を歩くと、  
その刺激で花粉を押し出す仕組みになっている。  
・花と昆虫の共生関係について知る。

**指導体制**: 指導者1名、指導助手2名 に対し **対象人数**: 25~30名

**準備**: ルーペなど自然観察器具

**留意点**: 地域の課題(松枯れ)に気付き、そこから環境問題への関心を深めるきっかけとする。  
ルーペの使い方や、観察上の注意

**プログラムの関連性**:

**小学校学習指導要領**

**生活科 内容(5)** 身近な自然を観察したり、季節や地域の行事にかかわる活動を行ったりなどして、四季  
の変化や季節によって生活の様子が変わることに関心を持ち、自分たちの生活を工夫したり  
楽しくしたりできるようにする。